

# 県立中央病院

## 連携センターだより

発行 第42号

発行 平成30年10月15日

発行者 新潟県立中央病院

### 看護部の取り組み

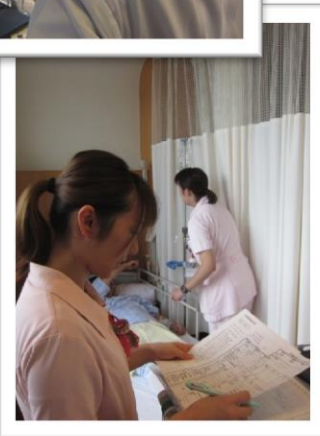
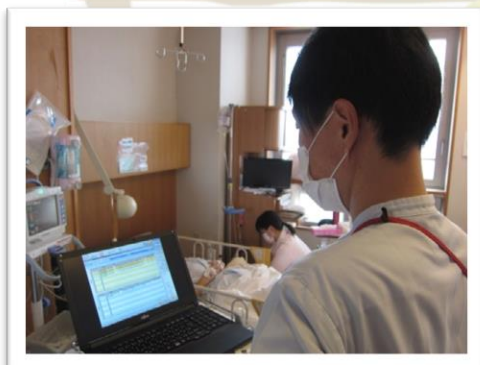
看護部長 高橋 玲子

看護を取り巻く社会の変化、どんな社会がこれから来るのでしょうか。少子超高齢化、人口減少、患者の変化、認知症増、医療提供体制の変化では病院から地域・在宅へ変化しています。このような中、看護師は「医療の場と生活の場をつなぐ役割を果たしていく」病院と在宅・施設等をつなぐこと。いかなる疾病や障害を持っていても「人間」の生活の場・日常生活をみることが出来る看護師が必要です。それは、入院・治療～これからの生活の先を読む力、多職種と連携していく力が必要です。

これらを踏まえ今年度は、新採用者23名、県立病院よりの異動転入者32名を迎え、約520名の職員皆で、安心・安全・温かい看護を24時間「つなぐ」ことを看護部の方針のもと日々、取り組んでいます。

今年度は、2名の認定看護師が誕生しました。総勢12名の認定看護師・専門看護師が、看護師の実践力アップに関わり活躍をしています。

看護体制は、PNS（パートナーシップナーシング）をとっています。看護師が、安全で質の高い看護を共に提供することを目的に、2人の看護師が良きパートナーとして、看護を提供する看護体制です。ペアで働くことは、常に相談しやすい環境にあり、コミュニケーションを活性化することができます。PNS体制を醸成し、より安全な看護を提供し、当院が目指している「信頼され地域と共に歩む病院」のために、貢献したいと取り組んでいます。今後ともよろしくお願いたします。





# 連携登録医の紹介

相澤内科医院 理事長 相澤 研一先生



本院が昭和町に開業して21年目になりました。開業した頃は本院の周りには開業医はなかったのですが、今は内科、整形外科、脳外科、耳鼻科、皮膚科の先生が開院しました。

この秋には、さらに内科医院が開業します。開業医が多くなりました。患者さんからはこの情勢は歓迎されるでしょう。私も他科の疾患を無理して診ることがなくなり、その分内科に集中できます。一方、私事ですが開院時は内科学会、超音波学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会の認定医または専門医でしたが、この20年余りのうちに、更新切れで残りは内科学会総合専門医だけになりました。専門医資格は病院に勤めているときは最低限必要と思いますが開業してからは、むしろ浅く広くの姿勢が重要と考えています。そのうえで本院の限界を知り、CT、MRIの診断、難しい病気の診断、入院治療は県立中央病院にお願いしている次第です。特に放射線科の先生には大変お世話になり、その専門性には心から敬服いたします。また中央病院への外来、入院紹介でも快く受け入れて頂き、さらに診療結果の情報提供も詳しくご返事頂き、非常に感謝しております。今後もよろしくお願い申し上げます。

最後に本院のスタッフですが、事務員4人、看護師3人、助手2人からなり、事務員はMRさんによると他の医院に比べると若くて特に綺麗であると言います。看護師はベテランの3人で、対応よく、機動力があり実に頼もしい存在です。助手は働きもので、この医院ほどきれいにしているところはないと言われる程によく働いてくれます。こんな感じで日々の診療を行っています。

# 診療科の紹介

## 耳鼻咽喉科 土屋 昭夫医師



耳鼻咽喉科では、耳、鼻、口腔、咽喉頭、頸部の疾患を3名の常勤医師で外来患者、入院患者の診療を行っております。他科・他院や開業の先生からご紹介いただいた手術や詳しい検査が必要な患者さんが中心となります。

外来診療は、月～金曜まで毎日2診体制で診療を行っています。それに加えて毎週金曜の午後には新潟大学医歯学総合病院耳鼻咽喉科の耳疾患専門の先生に助勤を依頼して、耳外来(当科外来を受診した患者さんの中から専門診療を要する方のみの予約となります)を開いています。

外来検査としては、機能検査として聴力検査、嗅覚検査、脳波聴力検査、顔面神経の検査などを行なっています。

また画像診断として、レントゲン検査、超音波検査(エコー)、CT、MRI、PET-CT検査などを行なっています。また内視鏡(電子スコープ)検査の際はモニターを用いて、必要に応じ患者さんにわかりやすく説明するようにしています。

入院診療は、手術患者さんと、めまい、鼻出血、重症感染症、突発性難聴、顔面神経麻痺などの急性疾患の患者さん、そして悪性腫瘍の患者さんが主となります。

手術件数は年間約250件です。可能なものは外来日帰り手術を行なっておりますが、通常の入院全身麻酔の手術については近隣で耳鼻咽喉科手術が可能な病院がごく限られており、常に混雑しております。良性疾患や緊急性のない手術については半年近くお待たせしてしまうことがあることをご了承ください(悪性疾患、緊急疾患はこの限りではありません)。

少しでも多くの患者さんの助けになるよう安全で迅速な診療を心がけてスタッフ一同日々努力しておりますので、これからもよろしくお願ひします。

# 当院栄養課紹介と

## これから目指すもの

### 栄養課 山田 礼子

当課は管理栄養士・栄養士計6名、事務1名、調理師24名で入院患者さんの栄養管理と病院給食の提供、入院・外来栄養指導を行っております。

さて、平成30年度の診療報酬改定により、管理栄養士業務についての評価が大幅に見直されました。特に患者さんに寄り添ったきめ細かな栄養管理、関係機関との連携推進が評価の対象とされています。

上越地域は県内でも先駆けて在宅「訪問えいよう指導」が整備されるなど、栄養関連においては非常に活発な地域です。当院でも平成27年度以降、登録医の指示により当院で栄養指導を受けていただくことが出来る「栄養管理室の共同利用」がシステム化されております。これらをうまく結び付け、患者さんにとって「切れ目のない栄養管理」の提供を目標に連携強化に取り組んで参りたいと考えております。



## 転入医師の紹介(10月の異動)

診療科	氏名
整形外科	樋口 賢太郎
放射線科	田中 研介



**新潟県立中央病院**  
上越市新南町205番地  
TEL: 025-522-7711 (代表)  
FAX: 025-524-3232 (地域連携センター直通)